

心房細動や脳卒中リスク、WATCHMAN FLX™
に関するさらに詳しい情報は
www.laac.jp にアクセスしてください。



WATCHMAN FLX™ 左心耳閉鎖 (LAAC) システムは
医師が抗凝固薬服用可能と判断し、
かつ代替療法に切り替える妥当な理由がある
患者さんを対象とした、
抗凝固薬からの代替療法です。

出典：

1. Wolf PA, Abbott RD, Kannel WB. Atrial fibrillation as an independent risk factor for stroke : the Framingham Study. Stroke 1991 ; 22 : 98
2. Blackshear J. and Odell J. Annals of Thoracic Surgery.1996; 61: 755-759
3. Kar, S., et al, Primary Outcome Evaluation of a Next-Generation LAAC Device: Results from the PINNACLE FLX Trial, Circulation,2021;143:1754-1262

ここで提供されるすべての情報は皆様への情報提供を意図しており、医学的なアドバイスや診断に使用されるべきものではありません。もし健康状態に関して何らかの不安があれば、医師にご相談ください。

**Boston
Scientific**

Advancing science for life™

販売名：WATCHMAN FLX 左心耳閉鎖システム
医療機器承認番号：30200BZX00383000

© 2022 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

SH-1346401-AA

心房細動と 脳卒中について

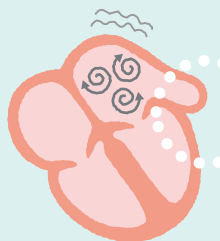


心房細動と脳の関わり、
脳卒中のリスクについて
わかりやすく説明します。

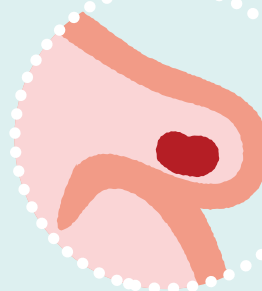
WATCHMAN FLX™
左心耳閉鎖システム

カテーテルを用いた左心耳閉鎖術を実施される方へ
医師による説明資料

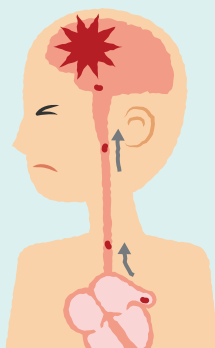
心房細動と脳卒中のしくみ



心房細動は、心臓の上部にある2つの部屋(心房)が小刻みで不規則な拍動(細動)をする不整脈です。



この疾患によって、心臓の左心耳(LAA: Left Atrial Appendage)に血液が滞留して血栓が形成されることがあります。



血栓が動脈を通して脳に達すると脳卒中に至る場合があります。

心房細動と脳卒中は密接に関係しています。



心房細動患者さんの脳卒中リスク

心房細動がない人の脳卒中リスク



心房細動がある人の脳卒中リスク



5倍 心房細動がある人の脳卒中リスクが
高くなることが示唆されています。^[1]

心房細動による脳卒中によって、
死亡・後遺障害を引き起こす
確率が高くなります



現在の心房細動治療法

心房細動患者の抗凝固療法

抗凝固療法は、薬剤により脳卒中を引き起こす
血栓形成リスクを低減します。

問題点

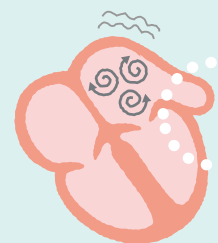
- 抗凝固薬を永続的に服用しなければいけない。
- 抗凝固薬の適応可能でも、理由によって長期間の服用が困難な患者さんもいます。



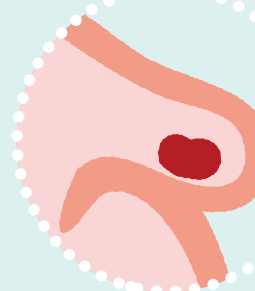
WATCHMAN FLX™ 左心耳閉鎖術

という選択肢もあります。

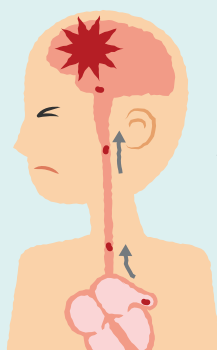
心房細動と脳卒中のしくみ



心房細動は、心臓の上部にある2つの部屋(心房)が小刻みで不規則な拍動(細動)をする不整脈です。



この疾患によって、心臓の左心耳(LAA: Left Atrial Appendage)に血液が滞留して血栓が形成されることがあります。

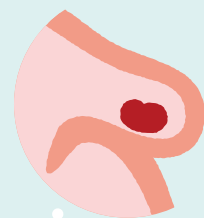


血栓が動脈を通過して脳に達すると脳卒中に至る場合があります。

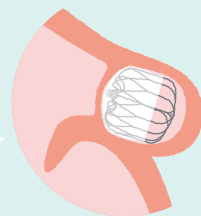
心房細動と脳卒中は密接に関係しています。



WATCHMAN FLX™ 左心耳閉鎖術とは



脳卒中を発生させると言われる心臓由来の血栓の90%が、左心耳(LAA)で形成されます。^[2]



WATCHMAN FLX™ は左心耳(LAA)を永久的に閉鎖し、血栓を移動させません。

抗凝固薬の代替療法として左心耳を永久的に閉鎖し脳卒中のリスクを減らします。



安全性と有効性

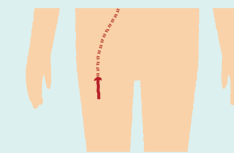
手技成功率 **98.8%**^[3]

抗凝固薬中止率 **96%**^[3]

WATCHMAN FLX™ 留置手技

1

WATCHMAN FLX™ を留置するには、脚の付け根に小さい切り込みを入れて細い管(カテーテル)を挿入します。



2

カテーテルを通しWATCHMAN FLX™ を左心耳(LAA)に誘導します。



3

手技は全身麻酔下で行われ、約1時間を要します。WATCHMAN FLX™ を留置した患者さんは一般的に手技の翌日から歩行が可能です。



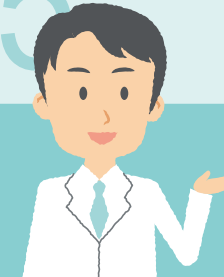
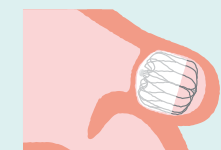
4

手技後、左心耳(LAA)が閉鎖されるまで抗凝固薬を服用します。通常は手技後から約45日間服用します。



5

その後、時間の経過とともに左心耳が閉鎖されます。



低侵襲で負担が少なく退院も外科的な手術に比べて早くなります